

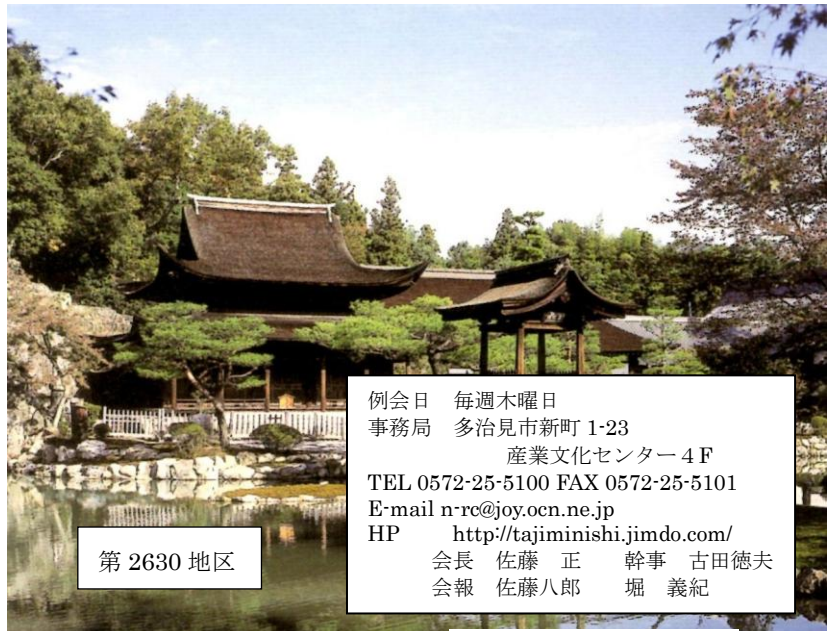


平和 茶碗の図

人間国宝 荒川豊蔵氏筆

多治見西 RC 創立 10 周年記念誌より

右写真 平成 23 年 虎溪山永保寺



第 2630 地区

例会日 毎週木曜日
 事務局 多治見市新町 1-23
 産業文化センター 4F
 TEL 0572-25-5100 FAX 0572-25-5101
 E-mail n-rc@joy.ocn.ne.jp
 HP http://tajiminishi.jimdo.com/
 会長 佐藤 正 幹事 古田徳夫
 会報 佐藤八郎 堀 義紀

第 46 期会長テーマ
 「つなげよう奉仕の心」



第 2233 例会 2012 年 4 月 26 日 (木)

お祝い例会

場所：例会場 点鐘：12:30

本日のプログラム

- 点 鐘
- ロータリーソング 手に手つないで
四つのテスト
- 会長挨拶
- 出席・スマイル報告
- 委員会報告
- 幹事報告
- お 祝 い 親睦委員長 伊藤義弘君
- お誕生日
- 結婚記念日
- 点 鐘

他クラブ例会変更のお知らせ

- ・中津川 RC → 4 月 26 日 (木) の例会
を 5 月 6 日 (日) 六斎市に移動
- ・土岐中央 RC・多治見リーバースイド RC
→ 5 月 1 日 (火) 特別休会

着信書類

多治見市少年少女合唱団友の会より

- ・たじみ陶器祭り公演協力のお礼
- ・3,000 人、30,000 本の大植樹祭開催の案内

日時：平成 24 年 7 月 8 日(日)

場所：可児市大森字奥洞 989

先週の記録

◆ 出席報告 (出席義務者 4 名内出席者 1 名)

出席者	欠席者	出席率
27 名	8 名	77.14%

◆ スマイル報告

投函者 12 名 金額 12,000 円

- ・本日卓話です。よろしくお願ひします。

関谷泰久

5月の予定

5 月 3 日 憲法記念日のため休会

10 日 定例理事会 11:30

場所：3F 特別会議室

ガバナー補佐訪問

例会終了後書画の片付け

まなびパーク

4月のお祝い

会員誕生日

4月 4日 山口寛君
4月 24日 上野芳朗君

ご夫人誕生日

4月 23日 齋藤敬子様 (明君夫人)
4月 25日 稲垣登志子様 (昇君夫人)



結婚記念日

佐藤正君 4月 1日 佐々木銚二君 4月 2日
飯田利夫君 4月 16日 関谷好弘君 4月 20日
齋藤明君 4月 20日 佐藤八郎君 4月 23日
今井義郎君 4月 25日 松本昇君 4月 29日

台湾苗栗小学校・市之倉小学校交換書画展

4月 25日 (水) ~ 5月 10日 (木)

まなびパーク 1F ロビー

オープニングテープカット 4月 25日 (水)

出席者：多治見市教育長 村瀬登志夫様
市之倉小学校校長 宮島敦子様

※苗栗の小学生の作品 108点

市之倉小学校の作品 96点

漢詩を写した見事な書画や色鮮やかな作品
が展示されました。



耐火物について

関谷泰久

1. 耐火物とは

耐火物は、高温重化学工業の各種反応容器の内張りおよび溶融物の流量制御に用いられる耐熱材料であり、耐火建築に使用される燃えない材料とは異なる装置産業材料である。耐火物の最も重要な性質は耐熱性である。耐火物は各種鉱物の混合物であるため一定の融点は持たないため、軟化溶融開始後、完全溶融まではかなり時間に温度上昇を必要とする。耐熱性以外に、耐火物の具備特性として、物理的に高温で変形・破壊され難く、科学的に高温で変質・侵食され難い材料である。これは英語の耐火物が **Refractory** = 我慢強い、と言われる所でもある。

2. 耐火物の物理的分類

分類	種類	結合剤	定義・特徴	
定形耐火物	耐火れんが	焼成	焼結	
		不焼成	化学結合剤	窯炉構築用れんが
		電鑄	融着	
	耐火断熱れんが		焼結	熱伝導率の低いれんが
不定形耐火物	耐火モルタル	熱硬性	粘土	バインダーは粘土
		気硬性	水ガラス、磷酸Al	バインダーは水ガラス、磷酸アルミ
		水硬性	Al-セメント	バインダーはアルミナ・セメント
	キャストابل		Al-セメント	水を使用して流し込み成型
	プラスチック		化学結合剤	練り土状、ランマー叩き込み
	吹付け材		化学結合剤	圧縮空気でガン吹付け
	ラミング材	粒状	化学結合剤	圧縮空気で強打
	スリング材	微粉	化学結合剤	スリンガーマシンで投射
	パッチング材	微粉	化学結合剤	塗布施工
	コーチング材	微粉	化学結合剤	塗布施工
軽量キャストابل	多孔質	化学結合剤	断熱性、水で流し込み成型	
繊維状材料	Ceramic Fiber		化学結合剤	人工繊維耐火物

4月 19日 卓話「耐火物について」原稿より抜粋

2012 年地区協議会の分科会 【クラブリーダーシッププラン (CLP) 部門に参加して】

次年度 CLP 委員長 佐藤八郎

今、RI (国際ロータリー) よりロータリーが 100 年を経て少々疲労し、クラブもマンネリ化している現状から、クラブの活性化を狙いクラブの起死回生を期すために「クラブリーダーシッププラン」CLP が推奨されています。究極的にクラブ管理運営委員会、クラブ広報委員会、会員増強退会防止委員会、奉仕プロジェクト委員会、ロータリー財団と米山奨学委員会をくっつけた五つの委員会にして、贅肉を取り去りスリム化し活動をしやすくする考えです。このように CLP 推奨オプション 1 には、ロータリーの歴史そのものの 4 大奉仕委員会をひとまとめにひとくりにすると言う大手術・大改革が含まれます。これは強要されるものではなく、採用するかしないかは各クラブの裁量で決められるものですが、しかし RI はクラブに CLP が導入されていることを前提にあらゆるメニューを提案してくるということで、そのように対応しなければなりません。10 年前に地区リーダーシッププラン (DLP) が出来、その最たるものが、各分区にガバナー補佐という役目を設けてガバナーを補佐する。分区内でクラブの枠を越えた活動が出来るというそれなりに有効に働く地に着いてものになったのではと思います。さて今度の CLP は DLP をどう補完するかどう整合するか、曲がり角のロータリーを良い方向に導くことが出来るか。組織の簡素化、効率化、機能化が十分に図れるか。多治見西 RC は既に委員会の整理統合はいくつもやっていますが実効はなかなか難しいと云わざるをえません。十分にプロジェクトチームなどで検討したうえ、クラブのコンセンサスを取り本格的な取り組みが必要かと考えます。ロータリークラブがかつての輝きを取り戻せるか、これからの 10 年 CLP をひっさげての大勝負だと私は考えます。国際ロータリーが世界中のクラブに対して検討、実施を要請しているものであり、多治見西 RC にあった CLP をクラブ総力で創り上げたいものであります。

ご参考までにアンケート調査などから①CLP が良く分らない②十分な知識がないため地区の指導を願う③理解できている会員がいない などの要望があります。

全体的に委員会統廃合は 20~30 パーセントのクラブが行い、クラブ運営の効率化を図ったデータが発表されています。又、岐阜ロータリークラブ、久居ロータリークラブ、岐阜中ロータリークラブがほぼ理想的な CLP を展開しているとの報告があります。

4 月 23 日中日新聞より

岐阜と三重の RC 瑞穂で地区協議会

岐阜・三重県の 80 のロータリークラブ (RC) が所属する「国際ロータリー第 2630 地区」の地区協議会が 22 日、瑞穂市穂積の朝日大学で開かれ会員千百人が出席した。

七月からの次年度活動方針を話し合うために、毎年四月に地区協議会を開催している。

次年度の重点項目は※若い会員を増やしてクラブの活性化を図る※人道的奉仕の重点化など三点。

次年度地区代表「ガバナー」を務める本巣 RC の村橋元さん (68) は「守るべき伝統は守り、時代とともに変えなければならないものは変えていく」と呼び掛けた。



地区協へのバスの中で思ったこと

I. ロータリー活動、奉仕行動は広く積極的にマスコミに流し社会にPRすべきだとの説と、あれしたこれやったと言わずに隠徳に徹し目立たない方法が良いとの説があります。

実は後者はポールハリス、米山翁の主張でした。

この当時はあしながおじさんの、今でいうタイガーマスク風が尊重されていたのです。キリスト教の奉仕の考え方で古きよき時代の奥ゆかしく品格のある感がありました。

しかし、今年度6カ国で行った調査によりますと（国際ロータリー）オーストラリアでは87パーセントがロータリーの活動を認識しているのに、日本では33パーセントが知っていると答えたに過ぎず、その差は歴然としていて日本のロータリーは広報について考え直す必要が俄然出てきました。

数十年前より叫ばれてはいましたが切実感がありませんでした。ようやくという感も致します。今や、各地のロータリーが高い理念をもって優れた行為をしていることのアピール。ロータリーの公共イメージの向上を図ること。最重点課題となりました。ポリオひとつとっても、700万人以上をロータリーが救った。このノーベル平和賞クラスの偉大なる事業を何人が認識しているのでしょうか。黙っては何も伝わらない。なりふり構わない情宣活動が急務となってきました。

これが会員増強にも波及することが明らかかなのです。

II. この頃 ロータリーの時代の流れ、ロータリーの大きな変革に驚きと少しの悲しみを感じます。

出席問題の規制緩和—これはメイクアップ規定の変更、一業複数会員制の採用、テリトリーの廃止、職業分類の定員枠の拡大—分類の曖昧化、職業奉仕の軽視化—低評価等々、かつてのロータリーの金科玉条が次々と崩れだし緩んで来ました。これらの全て若い年代層が入会しやすいように、ロータリーで活躍し易いように、入会の門戸を広げ退会を防ぐ意図からです。

更にビジネスの第一線での活躍の方への配慮もあります。例会出席率の低下、会員減少の限界に近い現状から、背に腹替えられぬ状態です。これは十分にわかっている積りです。しかしまさに自惚れですが、静かにロータリーを愛して来た者の心に空しさと嘆きを与えていますことも事実です。

一番嫌いなことばですが、老兵は消え去るのみの声も身近に聞こえそうです。

でも尊敬する多くの先輩が沢山おみえになるわがクラブです。どんだんルールを変更するRIになにかあせりすら感じますが、

私どもクラブはマイペースでロータリーの心と原点だけは見失わないようにしたいなと一人思ったりしています。それにしてもポールハリスさん、「最近ロータリーの変化が激しすぎるよ。」と天国で云っておられるのでは。

(悩める会報子)